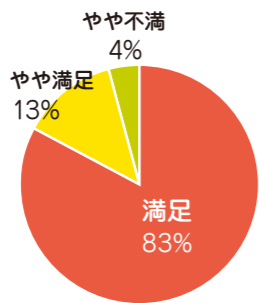


プログラム提案団体の声

1 満足度

受け入れてどうでしたか？

満足 83%
 やや満足 13%
 やや不満 4%



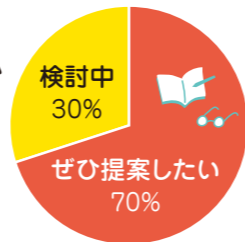
9割の団体が
 学生を受け入れて満足！

満足意見

「目的・課題意識をもって主体的に参画してくれた」
 「その場で考えて動いてくれて、居合わせた小学生もとても喜んでた」
 「とても助かったし、受け入れることでこちら学ぶことが多かった」

2 今後プログラム提案してみたいか

ぜひ提案したい 70%
 検討中 30%



ご意見

・「活動を通じて地域課題に関わるきっかけをつくりたい」
 ・「若い世代の感性を取り入れることは企業にとってもプラス」

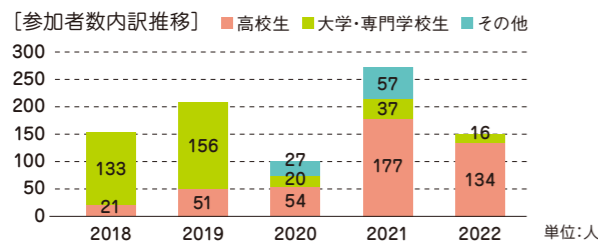
3 受け入れをして感じたこと・学生へのメッセージ

「一度参加してみるだけで、見方や考え方も変わると思う。また、一見難しそうなことでも、挑戦してみると意外とそうでもないこともある。ぜひ、自分の興味のあることに敏感になってほしい」
 「自分の力が生きて役立つ喜びを見出してとどん挑戦してほしい」

参加者の声

1 参加者数内訳

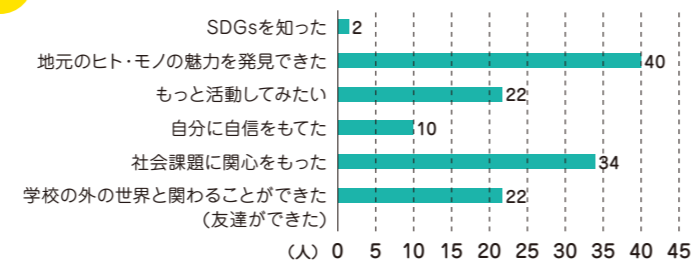
	2018	2019	2020	2021	2022
高校生	21	51	54	177	134
大学・専門学校生	133	156	20	37	16
その他	0	0	27	57	0
計	154	207	101	271	150



今年度参加者在籍学校

〔大学・専門学校〕 長野県立大学、清泉女学院短期大学、
 國學院大学栃木短期大学、長野福祉大学校
 〔高校〕 市立長野、文化学園、篠ノ井、長野西、屋代、長野、
 清泉女学院、長野日大、須坂、第一学院、稲荷山養護学校
 過去には、保健医療大学、清泉女学院大学、金沢大学、長野吉田高校、
 長野女子高校、長野東高校、長野俊英高校などの学生が参加しました。

3 自分の中の変化



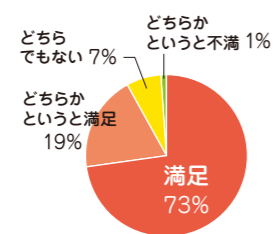
活動を通して、地元の魅力を発見できた、
 社会課題に関心を持った学生が多くいます！

学生の意見

「改めて地域でつながり、協力し合うことで
 その街、場所がつかられていくことを感じた」
 「実際に地域とイベントを通して関わることでもっと良くしたいと思った」
 「活動終了後も受け入れ先の方や他の参加者と関係が続き、人脈が広がった」
 「自分には足りないものを地域内で補い合い、高めあう協働の素晴らしさを
 体感しました。学生にしかできないこと、学生にはできないこと、誰でもできる
 こと、この壁を大きく考えすぎないことも大事だなと思った」

2 満足度・感想

満足	73%
どちらかという満足	19%
どちらでもない	7%
どちらかという不満	1%



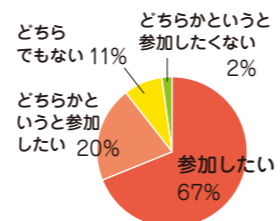
回答した9割が満足！

「受入先の雰囲気がよかった」「活動が楽しかった」と答える
 学生が多く、継続して活動する学生もいます。

4 今後も地域活動してみたいか

地域活動に今後も参加したい
 という意思をもつ学生が8割！

具体的に、祭りの企画や学生が放課後勉強等の活動
 ができる居場所運営、子どもに関わる、福祉関係
 などの活動を候補に挙げています。



問い合わせ先

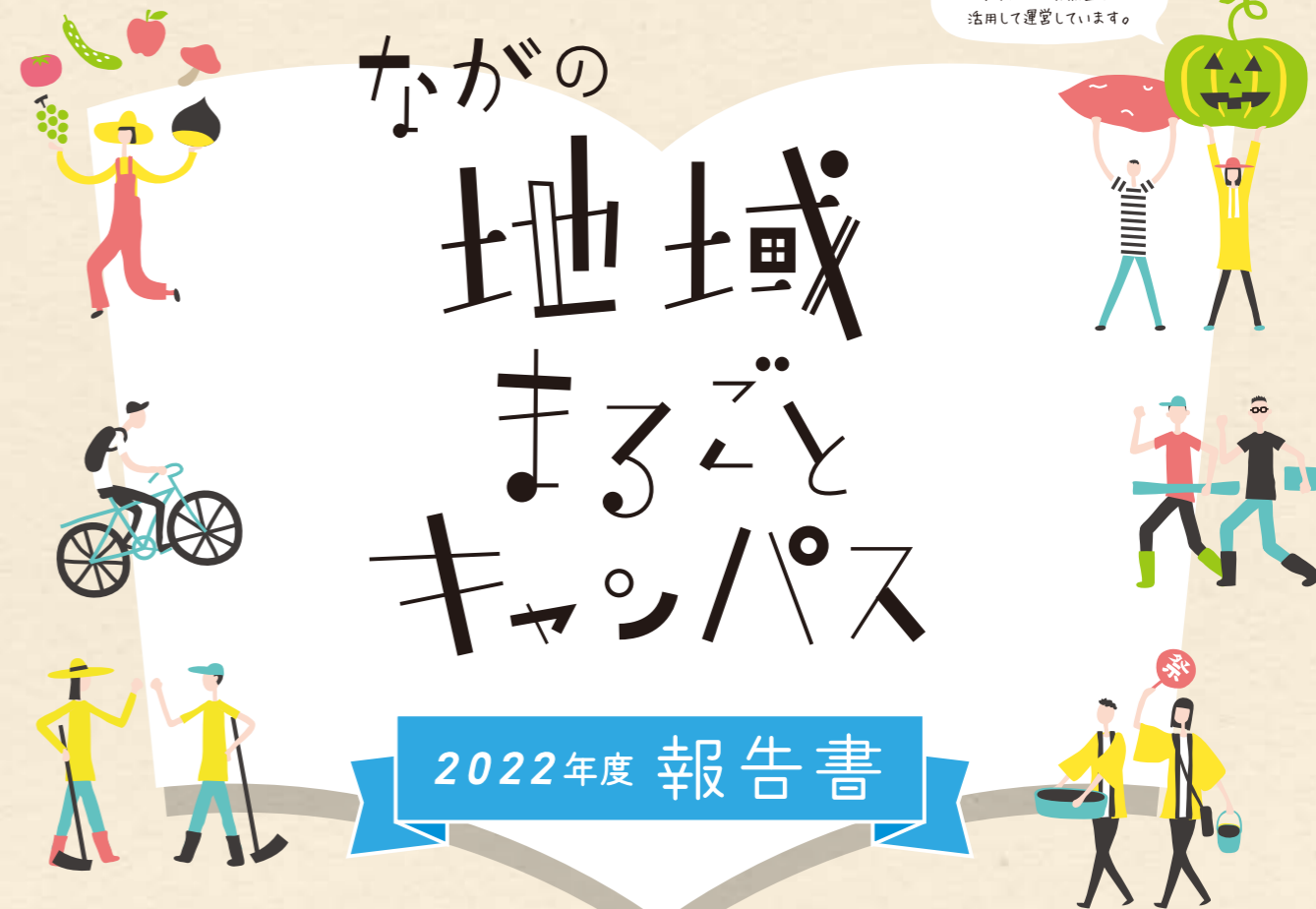
ながの地域まるごとキャンパス事務局 (もんぜんぶら座3階 市民協働サポートセンター内)
 TEL. 026-223-0051 ✉ npo@nagano-shimin.net 受付月～日(第1・3水曜除く) 10:00～19:00

主催: ながの地域まるごとキャンパス実行委員会

協賛: 十念寺、信州能力開発ネットワーク、信州子育てみらいネット、第三地区住民自治協議会、みどりの市民、山新田活性化プロジェクト、
 Green Style Forest、ながのこどもの城いきいきプロジェクト、子どもたちへヨガを伝える会ながの、みちくさ、
 長野県里親支援専門相談員北信地区連絡会、天空の里いもい農場、Hope Apple、FICTS Nagano実行委員会

後援: 長野市、長野市教育委員会、長野県、長野県教育委員会

地域まるごとキャンパスは、
 SDGsを推進しています



地域まるごとキャンパスは、 高校生・大学生向け地域活動体験プログラムです。

目的と概要 Purpose & Overview

地域まるごとキャンパスとは「あしもの地域=ながの」をまるごと「キャンパス」ととらえて、市民活動団体や企業などが
 地域活動のプログラムを提供します。学生たちは参画・体験を通じて、長野の人・自然などの魅力を再発見します。
 また、自分も地域の一員であるという「主体性」、人(地域)の役に立っている・認められるという「自己肯定感」が育まれる
 ことを目指します。そして、100年先も住み続けたい長野を目指す一人の市民としての自覚をもつことができます。

スケジュール Schedule

